

## 令和3年度第1回愛南町入札監視委員会 審議概要

### 【補足事項】

令和3年度第1回愛南町入札監視委員会について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面形式にて実施した。

書面審議完了日	令和3年9月21日（火）	
出席委員氏名	委員長 木下 尚樹（愛媛大学大学院理工学研究科准教授） 委員 増田 裕（税理士） 委員 青木 千之（元愛南町監査委員） 委員 山下 道和（元愛媛県建築住宅課長）	
審議対象期間	令和2年12月1日～令和3年6月30日	
抽出案件	総件数 11 件	（備考） 抽出の考え方 無作為に案件を抽出。（山下委員が案件を抽出。）
一般競争入札	7 件	
指名競争入札	0 件	
随意契約	4 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	質問・意見	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

別紙

意見・質問	回 答
<p>議題1 平成28～令和2年度愛南町入札契約状況について</p> <p>・特になし</p> <p>議題2 抽出事業の審議について</p> <p><b>【随意契約】</b></p> <p>◇防災行政無線尻貝屋外拡声子局スピーカー移設工事</p> <p>・設計金額が130万円を超えているのに、競争入札でないのはなぜか？</p> <p>◇林道二本松山草線道路舗装修繕工事ほか8件</p> <p>・舗装工事9件の落札者は全て同一業者であるが、どうしてそうなったと考えられるか？</p> <p><b>【一般競争入札】</b></p> <p>◇城辺公民館外壁塗装等改修工事</p>	<p>・本工事は、すでに設置されている防災行政無線を別の場所に移転する工事である。当該施設に精通した業者でなければ調整、動作確認が困難であり、保守点検業者以外が施工すると、不具合が生じた際、故障原因の特定ができなくなることから随意契約とした。</p> <p>・入札参加条件として入札参加資格者名簿に舗装工事業で登録された県内までの業者で、かつ舗装工事の施工実績があることを条件として入札及び指名している。町内に舗装工事の施工実績のある業者がいないことから町内業者が応札できないこと、また町内に工事事務所を持つ唯一の業者であるため、他の町外業者より低い請負金額で応札できることが要因であると考える。</p>

・上位2者の入札額が同額であったが、評価値で大きく差がついている。評価値の詳細はどうなっているのか？

### 議題3 その他

・特になし

・主に2業者で差のあった評価項目は、「ISOマネジメントシステムの取り組み」と「災害協定等に基づく活動実績」、「主任（監理）技術者の保有する資格」、「継続学習（CPD）の取り組み」の4項目だった。